

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 柳 俊徳	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	エイズ予防対策推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	エイズのまん延防止を図る	
事業概要	1 エイズ予防のための普及啓発事業：エイズに対する正しい知識を普及するため、県民に対し、キャンペーン、出前講座、講演会等を実施する。 2 エイズの早期発見対策事業：エイズ感染者を早期発見するため、県民に対し、無料相談、検査を実施する。 3 エイズ医療体制確保事業：適切な医療を提供できるようにするため、エイズ拠点病院に対し、カウンセラー（臨床心理士）派遣をするとともに、研修会へ医師等を派遣する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	患者発生数	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	人
			取組目標値					
	式・定義	患者発生数	実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,495	3,958
うち一般財源 (千円)	1,248	1,981

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

薬剤の発達により、エイズ発症前に感染が判明した場合は、エイズの発症を長期にわたり押さえることができるようになり、HIV感染症は慢性疾患と言われるようになった。このため、早期にHIV感染を発見して治療に結びつけられるように、保健所におけるエイズ相談、HIV無料検査の体制を整えており、また、エイズ出張講座や世界エイズデーに街頭キャンペーンを開催するなどの普及啓発に努めている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- エイズ予防のための普及啓発事業
 - ・中高生に向けてのエイズ出張講座を実施
 - ・12月のエイズデーに街頭キャンペーン実施
- エイズの早期発見対策事業
 - ・保健所での無料検査及び無料相談実施
 - ・6月のHIV検査普及週間で広報
 - ・12月に夜間・休日検査実施
- エイズ医療体制確保事業
 - ・エイズ拠点病院に対しカウンセラー（臨床心理士）派遣
 - ・研修会へ医師等を派遣

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」

保健所で実施している無料検査や無料相談の実施件数が、減少傾向であり検査件数の増加が望まれる。
- ②困っている状況が発生している「原因」

HIV検査に対する知識、理解が不足していると考えられる。
- ③原因を解消するための「課題」

エイズを発症してから検査を受けて判明するケースが半数あるため、早期に感染を把握すべき事など、無料検査について周知する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

HIV感染についての知識を広めるため、今後も出張講座等により普及する必要がある。また、様々な広告媒体を活用してHIV検査の必要性についてPRを行う。無料検査については、引き続き保健所で実施する。

9. 追加評価（任意記載）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。